

- 問1 浄水場では、水の中の小さな汚れを取りのぞくために、砂などの層を通してきれいにする「ろ過」という作業を行います。では、きれいになった水を各家庭に届ける直前に一時的にためておく場所を何といいますか。
- 問2 新聞や雑誌などの紙類を正しく分別して出すと、何に生まれ変わることが多いでしょうか。
- 問3 一度使った水を、きれいにしてから再び使うことを何といいますか。
- 問4 使い終わった後に、もう一度新しい製品の材料として作り変えることができるごみのことを何と言いますか。
- 問5 人々が住む場所で、限られた水資源を大切に守っていくためには、どのような心がけが一番大切でしょうか。
- 問6 清掃工場でごみを燃やしたあとに残る「灰」は、最終的にどうなりますか。
- 問7 火力発電で使われる石油や石炭などの化石燃料を使い続けると、将来どのような問題が起きると考えられていますか。
- 問8 使い終わったものを、一度分解したり溶かしたりして「原料」に戻してから、新しい製品に作りかえることを何といいますか。
- 問9 日本で水力発電が昔からさかんに利用されてきた理由は、どのような自然環境があるからですか。
- 問10 ごみとして捨てるときに、商品や容器包装についている「リサイクルマーク」を確認することには、どのような理由がありますか。
- 問11 家庭で「ふろの残り湯」を洗濯に使うのは、なぜ水資源を守るために良いことなのでしょう。
- 問12 清掃工場でごみを燃やす、一番の目的は何でしょうか。
- 問13 工場で機械を冷やすために使った水を、繰り返し使う取り組みには、どのような目的がありますか。
- 問14 使わなくなった服を、ごみとして捨てるのではなく、必要としている人に譲るような、形を変えずに繰り返し使う取り組みのことを何と言いますか。
- 問15 日本でいろいろな種類の発電方法が使い分けられているのは、なぜですか。
- 問16 リユースを進めることで、どのような良い効果がありますか。
- 問17 エネルギー源を燃やして、その熱で電気を作り出す方法を何といいますか。
- 問18 家庭から出されたごみや資源を回収して、清掃工場まで運ぶために使われる特別な車を何といいますか。
- 問19 家や学校で使ったあとのよごれた水は、どこへ運ばれてきれいにする処理がおこなわれますか。
- 問20 私たちがごみを減らすために、まず「リデュース（ごみそのものを減らす）」を意識することが大切なのはなぜですか。
- 問21 工場から出る「工場排水」について、工場が守らなければならない大切なルールは何でしょう。